

科目名	地理学の基礎 I	科目分類	□専門科目群(第1グループ) ■総合科目群(第2グループ)	
			全学科	
			学科	
英文表記	Geography I	開講年次	■1年 ■2年 ■3年 ■4年	
ふりがな	いちかわ たかし	開講期間	■前期 □後期 □通年 □集中	
担当者名	市川 聖	修得単位	2 単位	
授業のテーマ	地理学概論			
授業概要	本講義では、地理学を系統地理的な視点から、地理学に関連した学問を探究する。また、地理学の様々な分野を取り上げ、現代社会の課題に直結したテーマを分析しながら、実践的かつ総合的な地理学を学ぶ。			
到達目標	1.地理学の知識を応用して、諸事象を分析する資質を養う。 2.地理学的な分析手法を習得する。			
授業時間外の学習	1.日常的な地理的(地形、風土など)な観察を行うようにすること 2.地域社会の課題について新聞やニュースを通して考えるようにすること 3.講義の復習をしっかりと行っておくこと			
履修条件	特にありません。 地理学の基礎 I では「系統地理」、地理学の基礎 II では「地誌学」を中心に講義します。			
授業計画				
第1回	ガイダンス	地理学とは何か 秋田と地理		
第2回	地図と地域調査	地理に関する調査方法		
第3回	地誌学概論1	グローバリゼーションの動向		
第4回	地誌学概論2	発展途上国の課題と地誌		
第5回	世界の生活文化と民族	生活文化・民族・宗教		
第6回	民族・移民の地理	民族問題と地域紛争		
第7回	自然環境と地理	自然環境・世界の気候と地形		
第8回	環境とエネルギー資源	環境問題・エネルギー資源		
第9回	世界の農業	農林水産業・国際農業		
第10回	人口と食料	人口問題と食料問題		
第11回	世界の工業	工業・立地論・鉱工業		
第12回	商業と貿易	観光業・消費生活・貿易と国際協力		
第13回	都市と地理	都市地理学概論		
第14回	農業・農村と地理	農業地理学概論		
第15回	秋田の自然と産業	秋田の自然と地場産業		
第16回	定期試験			
テキスト	とうほう『新編地理資料 2018』 二宮書店『詳解現代地図』			
参考文献・資料	講義中に紹介しますが、以下の文献は地理学の基礎的な知識を学ぶことができます。 上野和彦・椿真智子・中村康子『地理学概論』朝倉書店(2007) 浮田典良『地理学入門<改訂版>マルチ・スケール・ジオグラフィ』原書房(2010) 竹内 淳彦・小田 宏信『日本経済地理読本(第9版)』東洋経済新報社(2014) John A.Matthews・David T.Herbert(森島 済・赤坂 郁美・羽田 麻美訳)『地理学のすすめ』丸善出版(2015)			

成績評価の方法	<p>総合評価【定期試験(50%)、レポート(20%)、受講態度等(30%)】 上記評価項目を基にして総合的に判断します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席回数が規定に満たない場合は、試験を受けることができません。 ・出席確認時に不在だった場合は原則としてその回は欠席とします。 ・授業中に無許可で退出した場合は欠席とします。 ・授業の理解、および予習復習が充分であることを確認するため、授業中に小テストを行うこともあります。 ・レポート課題は授業内又は掲示板で指示します。
成績評価基準	<p>【平成27年度(2015)以前に入学した学生】 優(100～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)</p> <p>【平成28年度(2016)以降に入学した学生】 秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)</p>
オフィスアワー	講義終了後
学生へのメッセージ	日常的に「考える」という作業を望みます。知識を暗記するだけではなく、現代の社会で実際に知識を応用することを意識してください。